

保育らくあか

福岡市長 高島 宗一郎 氏 書

編集・発行 一般社団法人福岡市保育協会 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ6F 発行者 古賀貞雄 編集者 西尾 達



vol.108

| | |
|---------------------|---|
| えがお・ふれあいまつり in 警固公園 | 2 |
| こどものえがお展 | 3 |
| 叙勲&大臣表彰 | 4 |
| 新園紹介 | 5 |
| 「今、旬」 | 6 |
| 教えて!身近な環境問題 | 7 |
| リレー回想 | 8 |

【写真を提供していただいた保育園】
 (福岡市保育協会フォトクラブ)
 城浜、内浜、あゆみらい、大濠、豊庄保育園

「子ども・子育て新制度の問題点」はユーチューブ(You Tube)で
 ご覧いただけます。
 ※PCだけでなくi-phone などのスマートフォンからも見る事ができます。

「新制度」の詳しい内容については

[ほいくせいど](#)

[検索](#)

を、クリック!



「えがお・ふれあいまつり」in警固公園

信和保育園主任 有江 涼子

福岡市保育協会と、福岡市保育士会が共催で、平成26年11月1日(土)に中央区・警固公園において『えがお・ふれあいまつり』が開催されました。先立つ10月29日から警固公園横の天神ソラリアプラザ1階で5日間の日程で開催されていた『2014こどものえがお展』(主催・福岡市保育連盟)に連動する形で行われたイベントで「保育士による地域子育て支援活動として、親子のふれあい遊びの援助、保護者や市民の皆さんに保育園の役割や保育士の専門性を発信しよう」というのがテーマでした。



江口会長をはじめ各区役員や主任保育士らが何度も話し合っ

て親子で楽しめる企画を提案し、当日は「お面・ペンダント作り」、「おもちゃくじ」、「新聞遊び」、「絵本の読み聞かせ」の各コーナーやイベントステージでの出し物を実施しました。残念ながら雨模様となりましたが想定した約3000人分のプレゼントやチラシ、5000個の風船などを配布し会場は賑やかになりました。子どもたちが大好きなアンパンマンや、イケメンのモデルが扮した「黒田官兵衛」も登場し会場を盛り上げてくれました。公務でお忙しい合間を縫って高島宗一郎市長が参加される際には雨もすつかり上がり「保育士会の一一致団結



ぶり」と熱意が雨を追い払ったんだ」と関係者一同納得した次第です。

この『えがお・ふれあいまつり』を市民のみなさんにアピールするにあたって事前に行ったものは以下の通りです。

- ① 養成校や公民館、各園保護者へのチラシ配布や声掛け
- ② 市政だより掲載
- ③ 西鉄バス・ラッピングバス3台(10月3日から11月2日まで) キヤッチコピーは『子どもの笑顔は福岡のしあわせ』
- ④ 西日本新聞への広告掲載
- ⑤ 当日の関係者Tシャツ1500枚

これらの事前の広報活動により多くの市民の方に来場していただけたと思います。

各区各園の保育士もカラフルな4色のTシャツを着て大活躍でした。会場を訪れる親子や市民の皆さんに風船や手作りおもちゃを笑顔で手渡し、保育園や保育士という仕事を大いにアピール出来たと思います。保育士の皆さんに作っていただいた手作りおもちゃも好評で「どうやって作ったのですか?」と熱心に聞いてくる保護者の方や、さっそく遊ぶ子どもの姿も見られ、準備に要した苦勞も吹き飛ば気分でした。



特設ステージでは光和保育園、城浜保育園、多々良保育園、松翠保育園の合唱、恵愛ソレイユ保育園の空手、エミール保育園の「ぐるみわり人形」のお遊戯など各園園児が大活躍してくれました。負けじと保育士の代表たちも「カッパ体操(中央区、博多区)」、「妖怪ウォッチ(城南区、早良区)」、「ちびまる子(南区)」、「AKBパレード(東区)」、「はらぺこあおむしパネルシアター(西区)、読み聞かせ(公立保育所)」を繰り出して笑顔と感動の華を咲かせてくれました。出演時に雨に見舞われたりして参加していただいた保育士の苦勞も大変だったと思いますが、福岡市の保育園職員が区の枠を超えて、手に手を取ってイベントを計画・実行できたことはイベントの広報の成果とともに大きな収穫だったのではないかと思います。

また、天神ソラリアプラザの『こどものえがお展』から流れてくる方も多くフォトコンテストの作品などで保育園の日常を知った市民の皆さんが、警固公園で保育士と触れ合うことで、より認可保育園のよさをご理解してもらえたのではないのでしょうか。家族連れ、おじいちゃんやおばあちゃん、保育士を目指しているかもしれない学生や中高生と会場に足を運んで下さった方は様々でしたが、「写真は保育園でしか撮れない表情よね」「わあーかわいい」「癒されますね」など嬉しい言葉をいっぱい聞くことができました。

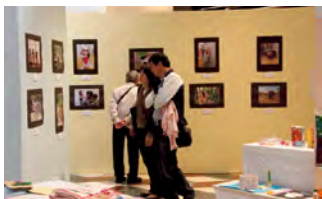
各区のイベント担当や雨の中ステージで踊っていた皆さん、プライベートで足を運んでいた会員の皆さん、バックアップしていただいた福岡市保育協会の役員の方や各園の園長先生、主任保育士の先生方、一致協力してくださった手作りおもちゃを作っていた職員の皆さん、本当にご協力ありがとうございました。



2014 こどものえがお展

～保育園で輝く こどもの写真がいっぱい！！～

平成26年10月29日（水）～11月2日（日）に天神ソラリアプラザ1階（ゼファ）で開催いたしました「2014こどものえがお展」は、5日間で4,600人を超えるご来場をいただきました。



フォトコンテストの応募数 474 点から選ばれた写真 100 枚の展示と、応募作品全点のスライドショーは、みなさん笑顔になりながら熱心にご鑑賞いただきました。「わぁ～かわいい!!!」「写真みただけで楽しさが伝わってきますね」など、たくさんの方々からコメントをいただきました。また、「市民賞」の投票は総数 402 票で、No.78 の「スキスキ」に決まりました。ご投票、ありがとうございました。



保育園の職員が「みんなのえがおが見たくて、心をこめてつくりました」とのコメントを添えた「手づくりおもちゃコーナー」では、こども達は夢中に遊び、お母さんだけでなくお父さん方も一緒に遊びながら熱心に見入っていただきました。「先生達よく上手に作ってありますよね!」「保育園の子は、みんなこんなおもちゃで遊べるんですか?」と感心されていました。



「親子ふれあいコーナー」では、親子で簡単に作れる「紙トンボ」や「折り紙」作り挑戦したり、手づくり「コマ」を回したりと、親子一緒に楽しんでもらえました。また、絵本の読み聞かせやヨーヨー釣りで遊んだり、たくさんの子ども達に喜んでもらえ、人気コーナーとなりました。



「子育て相談コーナー」では、入園の相談や子育ての相談に福岡市の職員や保育園長がお応えしました。また、身長・体重を測るコーナーでは、大きくなったなと親御さんも「にこり」。喜んでいただけました。



「DVD 放映コーナー」では福岡市保育士会から「保育園とは」と題して、保育園の1日の様子を放映しました。健やかな心身の発達を図ることを第一として、養護と教育を一体的に行っている認可保育園の様子が少しでもご理解いただけたと思います。また、福岡市保育協会青年部が行う東日本大震災被災地への募金活動にもご協力いただき、ありがとうございました。



福岡市保育連盟のキャラクター「すまいるん」は子ども達に握手を求められたり、「かわいい!!!」など言われ大人気でした!

☆これからも、福岡市認可保育所・保育園に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



福岡市保育協会会員の皆様

日本保育協会岩手県支部元支部長 稲村 和雄 園長

岩手県支部より表敬訪問
昨年12月、元岩手県支部青年部長みどりが丘保育園の七役司理長が、これまでの福岡市保育協会の被災地支援に対しての感謝の意を述べた表敬訪問されました。その際、ご同行できなかった元岩手県支部支部長いなり保育園の稲村園長からの福岡市保育協会への礼状を、七役先生よりお預かり致しましたので掲載させて頂きます。これからは青年部を中心に、支援を続けていきたいと思っております。今後とも皆様のご協力をお願い致します。

初冬の候、皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。震災当初から本年まで福岡市保育協会の皆様には、並々ならぬご支援を賜り心から厚く御礼申し上げます。元岩手県支部の七役司青年部長が、御地を訪問するという話を伺いましたので、御礼のご挨拶を申し上げます。走らせて戴きましたことをお許し下さい。
会員施設で、津波により流失した5ヶ所の保育園も、4園が復旧し、職員全員が一生懸命子ども達の笑顔を見ながら保育に頑張っております。残りの釜石保育園についても、現在、市が建設中であり1月中旬には完成するものと思われまます。しかし、被災地は復旧復興の速度が遅く未だに先の見通しがたないのが現状でございます。震災後早くも3年8ヶ月も過ぎ去りましたので、何時までも皆様にご迷惑をお掛けいたしますのも心苦しく存じます。所存でもありますが、被災地の我々が皆様から戴いたご支援とご声援を胸に抱きながら明るい地域を作り上げて参りますので、これまで戴いたご支援に感謝申し上げます。
被災した保育園では、決して消える事のないあの悲惨事ではありましたが、子どもたちの笑顔の心よりどころとして頑張っているかと思っております。これからは暖かいご声援を戴ければ幸いです。皆様方から、御無理をなさらず遠方より見守って戴ければ幸いです。本来であれば私も一緒に同行して、震災直後から長期間に亘り幾多のご支援に對しまして御礼のご挨拶にお伺いしなければならぬところですが、新年の神社の準備もあり同行出来ず誠に申し訳ございません。どうぞこれからも未永く私たちに暖かいご支援を賜りますことを心からお願い申し上げます。
これから寒さに向かいます折、お体には十分御留意の上、良き新年を迎えられますことを遠方よりお祈り申し上げます。会員の皆様方に宜しくお伝え戴けますようお願い申し上げます。時節柄、ご多忙のごことは存じますが宜しくお取計賜りますようお願い申し上げます。
今後とも宜しくお付き合い戴ければ幸いです。私も、改めて御礼にお伺い致し存じておりますのでその節にはご迷惑をお掛け致しますが宜しくお願い致します。

平成26年12月4日

敬具

秋の叙勲 受賞

厚生労働大臣 表彰

祝
瑞宝双光章



新新保育園 施設長
西谷 富士子

平成四年の藍綬褒章受賞に続き、この度平成二十六年秋の叙勲にて瑞宝双光章の榮譽に浴し、このうえない喜びに存じます。

長年、保育に携わり、子どもたちから勇気や大きな恵み、生きる喜びを受け、保育者冥利に尽きると感慨深いものを感じます。これは、ひとえに保育関係各位のあたたかい見守りとご厚情の賜物と感謝申し上げます。今後とも子どもたちの育ちに寄り添いながら、保育一筋に精進いたしたいと存じます。



高取保育園 施設長
西 福江

この度、平成二十六年秋の叙勲に際し、瑞寶雙光章の榮を受章させて頂きました。

これらもひとえに、私を支えて下さった皆様の御支援と御指導の賜と深く感謝申し上げます。ただただ、大好きな子ども達に囲まれて、大好きな保育という仕事に六十数年という長年にわたり携われたことを幸福に思います。今後は、次代を担う子ども達を育てていく大切な保育という仕事の素晴らしさを、若い先生達に伝えていきたいと強く思います。

祝
瑞宝単光章



愛多保育園 元施設長
奈多 井場 和子

この度、叙勲受賞という身に余る榮譽に浴し感謝致しております。四十二年前保母として採用され、主任保育士、園長とそれぞれの職種を経験して、保育会の様々な変化を見続けてまいりました。今後も制度変化は多種多様になるでしょう。これからも地域や社会に必要とされる支援を微力ながら続けられるよう充電中です。幼な児の幸せの為に保育協会の今後益々のご発展を祈念申し上げます。



つぼみ保育園 施設長
つぼみ 大久保 雅子

この度は秋の叙勲に際し、囃らずも身に余る榮譽を戴き感激致しております。これも偏ら長年に亘って皆様方より頂きましたご支援ご厚情の賜と深く感謝申し上げます。昭和四十五年に保育士となり主任保育士、園長となり現在に至り、折しもつぼみ保育園五十周年の節目の年にこのような勲章を頂きましたこと感無量でございます。

保育界も新制度がスタートしますが「子どもの最善の利益」を常に見極め、保育の充実に向け精進してまいりたいと思っております。



中央保育園 保育士
小澤 久美子

平成二十六年秋の叙勲に際し、瑞宝単光章の榮譽に浴しました。

これも偏ら、長年に亘って皆様方より頂いたご支援の賜で、「子どもたちの最善の利益」のため、日々地道に精進して参ったことへのご褒美と有り難く感謝致しております。中央保育園に勤務して受け持った子どもたちが卒園しても訪ねて来てくれたり、お父さんお母さんになってこの園が良いからと申し込んで頂き、嬉しい限りです。今後もこの榮譽に恥じない様、子どもたちと一緒に過ごせることを励みに健康に留意し頑張りたいと思っております。



高美台保育園 主任保育士
古賀 あづさ

保育士になる夢を叶えて、この歳まで続けてこられたことだけで幸せなことと思っております。この度の瑞宝単光章という身に余る榮譽にあ



和光保育園 副施設長
高木 令子

この度は、囃らずも瑞宝単光章受賞の榮譽に浴しました。これも偏ら長年に亘って皆様方より頂きましたご支援ご懇情の賜と、深く感謝致しております。



中央保育園 主任保育士
松本 芳子

この度、秋の叙勲で瑞宝単光章をいただき光榮に感じるとともに嬉しく思います。中央保育園で四十年間保育にたずさわってきまし

た。四十年間続けられたのは、尊敬できる園長先生方、保育の指導をしていただいた先輩の先生方のお蔭だと思っております。そして、子どもたちの笑顔にも支えられてきました。今まで関わってきた方々に感謝したいと思っております。これからも、日々成長する姿を見せられる子どもたちを見守りながら、人間作りの根幹になる年令の育ちの援助ができたらと思っております。

祝
厚生労働大臣賞



多々良保育園 副施設長
大神 千加子



若竹保育園 施設長
川内 良子



オーリーブ保育園 施設長
久保田 美知子



NEW!! 新園紹介

なごみナーサリー

園長 井上 健次郎

定員 90名

当園は平成二十六年四月、福岡市早良区田村地区に社会福祉法人いづみ会すみれ保育園の姉妹園として開園致しました。近くに清流室見川が流れ、田んぼに囲まれた自然豊かな地に、広々とした園庭と木質系のインテリアにより子どもたちを温かく包みこんでいます。

キリスト教に基づき、一人ひとりの個性を大切に育てる保育がその中心となっております。

また、「みんなで育つ、みんなが育つ」をモットーに、総合幼児教育研究会に加入し、「知・情・体」三位一体のバランスの取れた保育を行っています。

子どもたちの一日は、体育ローテーションで始まります。鉄棒・マット・跳び箱などを組み合わせた全身運動で目覚めたばかりの体と脳の動きを、毎朝十分に活性化させてから教室に入ります。教室での礼拝、日課活動（フラッシュカード、詩の暗唱など）は、大好きな活動の一つで、先生の繰り出すカードに、大きな声で応え、楽しく取り組んでいます。

また、はだか・はだし保育で、子どもたちは元気いっぱい活動し、豊かな心を育てるために音楽にも力を入れていきます。



すみわたる保育園

園長 素花 真澄

定員 120名

社会福祉法人あすか福祉会は、昭和五十七年に長崎県対馬市に認可保育所敵原南保育園を開園し、その後高齢者福祉と共に歩みを進めてきました。このたび福岡市にすみわたる保育園を開園し、子ども達をお預かりすることの責任や厳しさを改めて痛感しております。今まで培ってきた保育を大切しながら、更に福岡市の保育園として皆様に教えていただきながら地域に浸透していきたいと思えます。

すみわたる保育園は、地下鉄姪浜駅から徒歩十分の所に位置しております。

建物は、白いキャンパスにレインボーカラー、子ども達の好きなバルーンを描きました。日当たりが良く、光の中で輝く子ども達の姿は、一枚の絵を見るようです。保育目標として次の事を掲げています。

- 一、元気な子ども
- 一、身辺処理のできる子ども
- 一、仲のよい子ども
- 一、考える子ども
- 一、生きる力を持った子ども

対馬市も福岡市も澄みわたる青空のような子ども達の瞳は変わりません。今後も職員一同研鑽を積みながら、子ども達と共に歩んで参ります。また、隣地にあります同法人が運営する特別養護老人ホームとの異世代間の交流も職員同士の連携を取りながら深めていきたいと思えます。



たんすい保育園

園長 五十嵐 久朗

定員 110名

平成二十六年十一月より博多区諸岡一丁目に、六十年の歴史を持つ「淡水幼稚園」の姉妹園として開園しました。「たんすい保育園」です。

窓がたくさん、三階建ての明るい園舎が目印です。玄関を入ると解放感のある廊下があり、大きな窓越しに見えてくるのが「もぐもぐキッチン」調理室です。いつも美味しい給食を作る姿が目に入ってきます。子ども達のお楽しみです。

少ない人数ですが、姉妹園と活動を共有する機会も設け充実した保育を行い、

近隣の皆様からも多大なご協力とご理解を頂き元気な笑顔で毎日を過ごしています。

私たちが意識する大切なこと

すべての命を育む淡水のように、ありのままの個性を伸ばします

未来に輝く子ども達のために・・・

主役である「子ども」の気持ちを第一優先に、淡水ファミリーの職員の一輪をさらに繋げ、広げて大きくする。そしてこれからの時代に合った保護者や地域のニーズにあった求められる保育園を目指します。

皆様ご指導の程どうぞよろしくお願いたします。



今旬の作付け計画とプランター栽培

めぐみ保育園 副園長 本田 陽介

・何が食べたい？

春の足音が聞こえてくる時期になつてきました。そろそろ来年度の計画を考えている保育園もあると思います。皆さんの保育園ではどのような食育計画をお持ちでしょうか？この時期に今年の作付け計画も一緒に考えてみてはいかがでしょうか？

作付け計画といっても難しいものではないと思います。1番重要なのは「何が食べたい？」を決めるだけです。今回はプランターでの野菜栽培を中心に基本的な知識と共にご紹介します。

・季節を先取りする野菜たち

野菜を育てる際に重要なことのひとつとして、定植時期があります。植物は気温や日照時間と深いつながりがあり、一つのタイミングに合わせて作業を進めていきます。

夏野菜の収穫時期は、5月から9月頃まで続きます。定植から収穫できるようになるまでは約1か月かかるので、およそ5月初旬頃の定植になるでしょう。種まきから野菜を育てる場合はさらに約1か月かかります。このように季節を先取りして、夏野菜の準備は春から、冬野菜は秋に行うこととなります。常に先を見通し、収穫時期から逆算して計画することが必要です。



・水やり三年

保育園では、プランターで野菜を栽培することが多いと思います。プランターでも野菜をしっかりと育てることはできません。しかし、水やりで失敗することが多いです。「湿らす程度」や「たつぷり」等、水の量を表現する言葉がありますが、実際にどれくらいを与えるかは状況によって変わります。プランター栽培では、路地と違い土が乾きやすく、暑い時期だとすぐに水が切れ枯れてしまします。逆に水を与えすぎると、根腐れや病気の発生につながります。



農業の世界に「水やり三年」という言葉があります。水やりが問題なくできるようになるまで3年かかり、農業の技術の中でも難しいものとされています。それでは適正な水量を適正な時期に与えるために、どのように判断すればいいのでしょうか？

まず初めに、その野菜の原産地を調べてみましょう。例えばトマトの原産地は、南アメリカのアンデス山脈の高地ですから乾燥した地域だと想像できますので、トマトは少ない水やりで良いということになります。このように作物がどのような場所で生まれたかを知ることは重要です。

・師匠の名言

私の農業の師匠に水やりの方法を聞いた時に「その野菜が欲しいのなら、あげたらよかよ」と答えられました。その時は意味が分かりませんでした。野菜を育てていくうちに少しずつ分かってきました。水が足りない植物の葉は、なんとなく色が悪くなり外側が巻いてきます。さらに乾燥が進むと、巻いた部分が茶色になりおれ、最後には葉が枯れ落ちてしまいます。植物は言葉を発しませんが小さなサインをこちらに送ってくれます。その様子を良く観察し、昨日と違う様子を探してみましよう。

・少なく植えて大きく育てる

プランターで育てる場合の基本は、「少なく植えて大きく育てる」ことです。ナスを露地栽培すると、高さがメートルを超えます。プランター栽培でもそのサイズを目指せばいいのです。



野菜が密集したプランターでは、成長不良に直接つながります。根が張れるスペースをしっかりと確保することも重要です。さらに、他の植物と日光を奪い合い、植物同士がストレス物質を出し攻撃し合います。葉が擦れ合い、根が絡み合うことは、満員電車からずっと降りられないようなものです。それぞれの株が健康に育てる環境を整えれば、安定して収穫が可能になります。人も植物もストレスが少ないと、能力を発揮できるわけです。

・連作厳禁

連作とは同じ土で同じ種類の野菜を育てることで、偏った栄養が植物に吸収され土が痩せたり、病気が害虫の大発生に繋がったりすることです。



冬野菜の主役にアブラナ科の野菜があります。ダイコン、カブ、キャベツ、ハクサイ、等が代表で、ブロッコリーやチンゲンサイもアブラナ科です。毎年同じ土にアブラナ科の植物を植え続けると連作障害となり健康な生育を阻害します。そのため作付け計画を作り、プランター栽培では土を再生することが重要になります。土は消耗品です。植物を植えれば養分は減り、疲れた土は生き物を育むことはできません。しかし、プランター栽培ではシーズンごとに土を買い替えるわけにもいかないのです。再利用しましょう。大事なことは、土を休ませ自然の力で風化させることです。

シーズンが終わったら土から植物を根こそぎ抜き、土をふるいにかけて、冬なら野ざらしにし、時々水をかけ寒にさらします。夏の場合は黒いビニールに入れ直射日光で蒸し焼きにします。これで害虫の大半は死滅します。植物は土から離れられませんので、快適、安全、清潔で健やかに眠れる場所を望んでいます。野菜の気持ちを想像してみましよう。

・購入した苗にもひと工夫

購入した苗は、大量生産をするため土の量が少なく、根が張り切らないうちに出荷することが多く、苗が土に定着しにくくなっています。購入した苗を使う場合は、一度土をたっぷり入れた大きめのポットに植え替えてしばらく育て、ポットの中に根が張り切り、ポットの下の方から根が出てくるまで育ててから定植すると失敗が少なくなります。

植物も土も生き物です。決まった手順を踏めば必ず思った通り育つとは限りません。必要なのはよく観察し手間をかけること、ある程度その植物の力を信じて待つことです。そして、植物を育てるのはとても難しいことです。失敗してもめげずにどんどんチャレンジしてみてください。



都市と自然が調和したまち、ふくおか

～身近な自然を楽しもう!!～

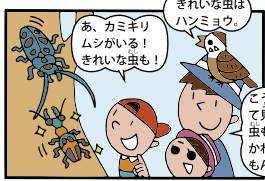


ふくおかの身近な自然を楽しもう!

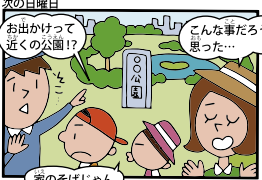
環境局 環境監理部 環境調整課 名川 学



油山の森で ④ 過ぎよう



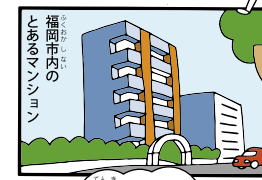
近所の公園に ③ 出かけよう



ふれあうなら ② 身近な自然から



家族で自然と ① ふれあいたい



市民がふれあう自然共生のまち

海づり公園
 ■釣りで仕掛け作りなどの釣り指導、海洋釣り場(真鱒、真アジ)
 ■TEL092-809-2666 FAX092-809-2669
 ■休園日：毎週火曜日(祝日の日は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)
 ※ただし、7月～8月は火曜日も開園

立花寺緑地 リフレッシュ農園
 ■体験農園、各種講習会等
 ■TEL092-587-0881 FAX092-587-0883
 ■休園日：毎週月曜日(祝日の日は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)

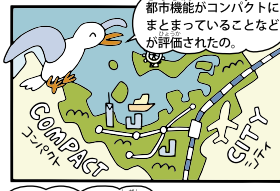
今津リフレッシュ農園
 ■体験農園、収穫体験、各種講習会等
 ■TEL092-806-2565 FAX092-806-2570
 ■休園日：毎週月曜日(祝日の日は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)

花畑園芸公園
 ■収穫体験、園芸相談、園芸講座等
 ■TEL092-565-5114 FAX092-565-3754
 ■休園日：毎週月曜日(祝日の日は翌平日)、年末年始(12/29～1/1)

油山市民の森
 ■自然観察、沢のぼり体験等
 ■TEL092-871-6969 FAX092-871-6909
 ■休業日：なし
 ■自然観察センターは月曜日(祝日の日は翌平日)休園

もーもーらんど油山牧場
 ■搾乳体験、乗馬体験、ウシ・ヒツジ・ヤギとのふれあいやエサやり体験、バター手作り体験等
 ■TEL092-865-7020 FAX092-865-7040
 ■休園日：毎週水曜日(祝日の日は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)

コンパクトシティ ⑥ 福岡の魅力



今津干潟を ⑤ 楽しもう



福岡市民の95.3%は福岡市を住みやすいと感じています。(平成二十六年度 市政に関する意識調査より)

福岡市は政令市の中で最も人口増加率が高い都市でありながら、新鮮でおいしい環境の豊かなことや、身近な自然の恵みや調和した住みやすさなどが評価されています。

このふくおかの自然環境は、将来を担う子どもたちに継承すべきものとして、そのために身近にあるふくおかの自然を多く増やしていきたいと考えています。

また、幼少期から自然環境にふれあうことで、科学的興味や生命への好奇心を高めることにつながり、市内各所で開催されている自然に関するイベント等を通じて、多くの子どもたちが身近なふくおかの自然にふれあい、楽しみながらその恵みを学びながら考えていきます。

福岡市の95.3%は福岡市を住みやすいと感じています。(平成二十六年度 市政に関する意識調査より)

福岡市は政令市の中で最も人口増加率が高い都市でありながら、新鮮でおいしい環境の豊かなことや、身近な自然の恵みや調和した住みやすさなどが評価されています。

このふくおかの自然環境は、将来を担う子どもたちに継承すべきものとして、そのために身近にあるふくおかの自然を多く増やしていきたいと考えています。

また、幼少期から自然環境にふれあうことで、科学的興味や生命への好奇心を高めることにつながり、市内各所で開催されている自然に関するイベント等を通じて、多くの子どもたちが身近なふくおかの自然にふれあい、楽しみながらその恵みを学びながら考えていきます。

※福岡市の環境誌「ふくおか」が公表した2014年度の「世界で最も住みやすい35都市ランキング」より。

リレー回想

「子どもたちとゆつくり歩む」

雑餉隈保育園 園長 村田千恵子



雑餉隈保育園は博多区の南部に位置しております。昭和40年頃より周囲には住宅や事業所が急増し、共働きの家庭が多くなりました。保育所の開設を求める地域の強い要望を受け、昭和49年、福岡市の保育所設置の年次計画により、法人認可を受けて定員120名で開園しました。その後、昭和54年には周囲の更なる世帯数増加に伴い、80名の定員増を行い園舎の増築を行いました。

毎日の保育では、何よりも安全でゆとりのある保育を信条としております。子どもは自分で育つ力を持っており、周囲の保育者がその環境を整え、見守ることが大切なことではないでしょうか。年間の行事として春と秋におこなっております親子遠足では、自然の中で親と子のふれあいを深めると共に、普段あまり関わり合っていない保護者間でのコミュニケーションをとる機会として、とても有意義なものになっております。年長児の秋の遠足では、郊外の広々とした農園でどろんこになりながら芋掘りを行います。自然の大きな恵みを感じると共に、収穫までの過程に興味を持ち、自然への感謝の気持ちを伝えます。

7月の夏祭りでは、子どもたちが手作りしたお神輿を担いで、地域を練り歩きます。沿道からの保護者や近隣の住民の方からの熱い声援を受けて、得意気な表情をしたり、ちょっと恥ずかしい表情だったり、子どもたちみんなの笑顔がはじけています。

給食で使用する食材には、できるだけ無添加で安全なものを使うように心掛けています。子どもたちの「美味しかったよ」「ありがとございます」の声を励みに、日々の調理に工夫をこらしています。夕方には、保護者と一緒に給食サンブルの前で、「このおかず美味しかったよ」「せんぶ食べられたね」など、親子の会話がはずんでいます。とても嬉しいひと時です。

開園から40年を迎え、これまで多くの子どもたちを温かく包みこみ、成長を見守ってきた園舎にも、ここ数年傷んでいる箇所が目立つようになってきました。園舎の老朽化の状態や今後のことを十分に検討した上で、今年度、園舎の増改築に踏みかけることになりました。当園の歴史を物語る園舎との別れには、とても感慨深いものがあります。

今年度中の竣工を目指して、現在建築が進んでおります。設計段階より、子どもたちが最適な保育を受けられることのできる環境づくりを第一に考えてまいりましたので、来年度には素晴らしい新園舎が完成することになるでしょう。新年度の保育が新しい環境の中でスタートできることと思っております。また、当園の歴史においても節目となる時期になりますので、様々な変化のある保育界の流れの中で、物事をしっかりと見極め、地に足をつけて日々の保育所運営に精進してまいりたいです。

最後になりましたが、30数年皆さまに支えて頂き、微力ながら地域の子育て支援の核となる保育園としてお手伝いできてきたと自負をし、これから子どもたちの明るい将来を願いながら、職員と共に力を尽くしたいと思います。

右が現在建設中の新園舎、左が長年慣れ親しんだ既存の園舎。



右が現在建設中の新園舎、左が長年慣れ親しんだ既存の園舎。

編集後記

ミステリーに「倒叙法」という手法があります。「倒」はひっくりかえる、「叙」は順序立てて述べるという意味です。通常ミステリーは事件や殺人があってもその謎は最後まで明かさず、読者は探偵と一緒に探ることが多いのですが、倒叙法のミステリーは、はじめに犯人が誰であるかを読者に明らかにします。そして読者は、犯人を追い求める探偵の奮闘ぶりを楽しみます。

この手法を使ったミステリーはそれほど多くはないのですが、ちょっと昔のテレビドラマ『刑事コロンボ』は、その典型的な例です(今でも時々再放送をしています)。テーマの音楽が流れ番組が始まると、はじめの5分くらいの内に犯人が登場し殺人が起こります。テレビを見ている私たちは犯人をすでに知っています。そこによれば、犯人の目星をつけ、「うちの奥みさんが」などと言いながら、鋭い問いかけをして追い詰めていくストーリーは、これまでのドラマとは一味違っていました。

さて、平成27年度の入所内定者が発表されました。それを見てオヤツと思うことがありました。私の園のことなのですが、夫婦とも正社員で育児休業明けの人が多数もれていたのです。昨年までは私が予想した内定者と福岡市が決めた内定者はほぼ一致し、入所要件の高い人で待機児童になっても、私はある程度納得せざるを得ませんでした。今回の事態には大変驚きました。そこで一人一人のデータを分析しました。正社員でも育児のための時短を採っている人がもれていました(※正確に言うと、時短を採っている人は3人。1人は私の園に内定できましたが、1人が第2希望の他の園に内定、1人が全くダメでした)。育児のための時短は子育てをする親を応援するものです。時短を採ることが不利になるなんて理不尽極まるシステムと言わざるを得ません。一方パートの人で正社員より時間数が多い人は○でした。これまでの入所要件のルールと異なり、正社員・パート職員の区別は除かれ、就労時間の長さが基準になっているためこつとしたことが起こったようです。パートの人の入所要件を正社員と同等にすることは、パートの人を救うものであり、評価してもいいでしょう。しかし、このことは同時に非正規雇用の常態化を「支援」することに思えてなりません。

(西尾)